

掛川お茶大使 & 日本茶インストラクター

吉岡亜衣加の
お茶の間通信子どもたちとお茶摘み体験で素敵な
時間を過ごすことができました♪

今年もきらきら保育園の皆さんとお茶摘みをさせていただきましたので、その様子をお伝えしたいと思います。

今回は年長さん年中さん合わせて28名の皆さんと、東山地区のお茶畑でポカポカ陽気の中でのお茶摘みです。私は少し早めに茶畑に到着していたのですが、バスを降りてから歩いてくる園児の皆さんがワクワクしている様子で、こちらまで楽しい気持ちでいっぱいになりました。昨年もお会いした年長さんたちが「あーいちゃんだー」と覚えていてくれたことがとっても嬉しく、お話ししたおかげで私の心はすでにポカポカ。

まずは、東山いっぶく処の杉山敏志さ



杉山さんにお茶畑や摘み方の説明をしていただきました。



子どもたちもお茶に興味津々の様子でした。

んからお茶畑についてや、摘み方の説明をしていただき、園児の皆さんも興味津々でしっかりと話を聞いていました。実際に茶畑に入り、お茶摘みを始めると「たくさん摘んでチャンピオンになるー」「二葉三葉だね」「ツヤがあるのを摘むんだよー」など園児同士お互いに教え合う姿が見られたり、私にも「上手に摘めたよ」と見せてくれたり。そして摘んだ茶葉を自分のバッグに入れて触ってみて「ふかふかのお布団みたい!」と喜んでいたり、「お茶畑は勝手に育つの? 誰かが育てるの?」とお茶畑に興味を持つ子もいて、農家さんの日頃の努力を知るきっかけにもなるとも素敵な

お茶摘みの時間となりました。

このあと園児の皆さんは摘みだての茶葉を天ぷらにしてみらって、持参したおにぎりと共にお昼ご飯とのこと。自分達で摘んだばかりの茶葉をそのままいただける天ぷらは、きっと絶品だったのではと思います。

そして昨年に引き続き、取材をしていたので摘んだ茶葉が少ない私の袋を見て園児たちが「上手に摘んだのあげるー!」と次々に入れてくれました。なんて優しいのでしょうか。みんなひとつひとつ丁寧に摘んでいた大事な茶葉を笑顔で「どうぞ」としてくれて涙腺が思わず緩みそうに。大好きな新芽が芽吹くお茶畑に、そして天使のような園児たちにたくさん癒されました。



子どもたちと素敵な時間を過ごすことができました♪